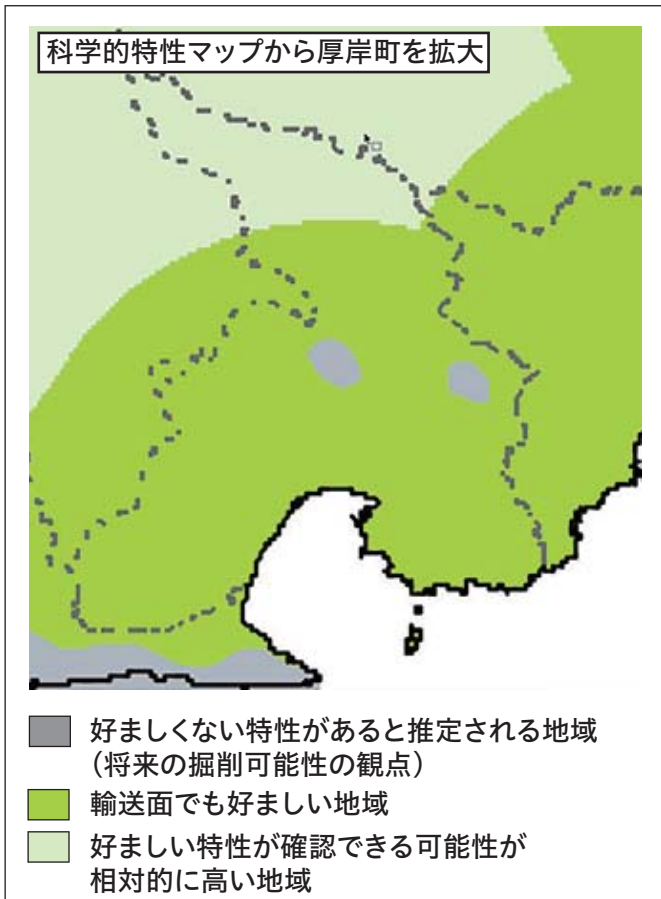




科学的特性マップとは

国は、2015年に高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する基本方針を決定しました。基本方針の中では、現世代の責任で地層処分を前提に取り組みを進めることや、国民や地域の理解と協力を得ていくため、地域の科学的特性を国から提示すること等が決められました。

今年7月には、この基本方針に基づき、地層処分にふさわしいかどうかを既存のデータから一定の要件や基準に基づいて、客観的に整理し全国地図の形に表した『科学的特性マップ』が公表されました。

科学的特性マップでは、火山や活断層の近くなどの条件が1つでもあてはまる



高レベル放射性廃棄物とは

高レベル放射性廃棄物とは、原子力発電において発生した『再利用できない廃液』をガラス原料と溶かし合わせ、ステンレス製の容器に流し込んで固めたもの

●問い合わせ／総務課総務係

マップの中で厚岸町は

厚岸町は、科学的特性マップにおいてそのほとんどが『好ましい特性が確認できる可能性が相対的に高い地域』および『輸送面でも好ましい地域』と示されています。

場所や、鉱物資源がある場所は『好ましくない特性があると推定される地域』に分類されます。これらの条件に1つも該当しない場合は『好ましい特性が確認できる可能性が相対的に高い地域』に分類され、この中でも海岸からの距離が短い範囲は『輸送的でも好ましい地域』に分類されます。

厚岸町の対応

新聞報道や、町議会における一般質問、町と議会に対する町民からの署名が提出されたことを受け、平成26年厚岸町議会第3回定例会において、全会一致で『厚岸町に核廃棄物最終処分場はいらない』宣言が決議されました。

町もこの決議を受けて、役場と海事記念館の間にある町民広場にある宣言塔にこの宣言を明記しました。

国は科学的特性マップを公表したことで「全国各地で国民や地域の方々ときめ細やかな対話活動を積み重ねていきます」としていますが、もし町に対して何らかの通知があっても、町としては応じることはありませんし、核廃棄物最終処分場の受け入れは反対の意思を貫いていきます。

